

2017年11月13日

たねと食とひと@フォーラム 御中

日清オイリオグループ株式会社
コーポレートコミュニケーション部

食用油の原材料に関するお問合せについて

拝啓 向寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、お問合せの件、下記のとおり回答させていただきますので、ご査収いただきますよう、
よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

質問① 1997年より遺伝子組み換え不分別原材料を使用していますか。

回答① 変更なし

(1997年から遺伝子組み換え不分別の原材料を使用しています。)

質問② 貴社製品原材料の種類と原産国、遺伝子組み換えの分別状況についてお答えください。

回答②

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え
日清キャノーラ油	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ <u>不分別</u>
日清サラダ油	大豆油	主にアメリカ、ブラジル	分別・ <u>不分別</u>
	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ <u>不分別</u>
ヘルシーリセッタ	食用精製加工油脂	主にカナダ、オーストラリア (なたね)	分別・ <u>不分別</u>

質問③ 産地農場から輸出港、輸入港、貴社製造工場までの、原材料の管理・輸送方法をお答えください。

回答③ 農家から集められた原材料は、各地域の集積所を経由し港湾サイロに運び、そこから大型のバルク（ばら積み）貨物船で輸送します。

質問④ 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えでないものに変更する予定はありますか。予定の有無とともに、その理由もお答えください。

- 回答④ 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品はございません。
また、遺伝子組み換え不分別の原材料を使用している製品に関して、遺伝子組み換え不分別でないものに変更する予定はありません。
原材料の安定調達、製品の安定供給の観点から、当該原材料を変更することは現実的に困難であると考えております。
- 質問⑤ 現在、食用油については遺伝子組み換えに関する表示義務はありません。今後、検出精度の向上によりDNAの検出が可能になった場合、商品本体に表示を行う予定はありますか。
- 回答⑤ 関連法令に基づいて適正に対応します。
- 質問⑥ 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するためには、どのような課題があるとお考えですか。
- 回答⑥ 原材料の安定調達、製品の安定供給が困難になると考えます。
- 質問⑦ 不分別の原材料を輸入される場合、IPハンドリング（分別生産流通管理）を行われていますか。行われていない場合、例えば未承認の遺伝子組み換え作物が混入した等、製品に事故があった時、どこでどのように混入したのか、原因究明が必要と思いますが、どのような対策をとられていますか。
- 回答⑦ 不分別の原材料は、IPハンドリングは行っておりません。
未承認の遺伝子組み換え作物の混入に対しては、関係省庁と連携し、その指示に従って対応いたします。

以 上